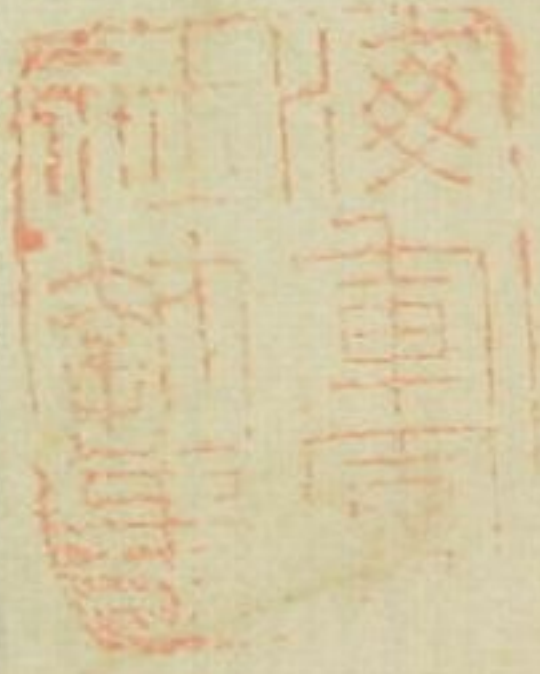


內外新報

第千九號



定價八分

西垣文庫 特
 文庫 10
 7352
 13



特 文庫10
7352
13

西垣文庫

内外新報第十九號

慶應四年五月三日



○菅原の如く子 速白書

殊死して其言を以今般洋夷人入 勿殊湯を免以
旨且又井蛙の管見を去る是返夷人との如く相
卑しめ以依を止め 皇國西洋と彼を区別せし
本朝の四制を以相改濟政の方端も返して西洋各國
法を採り以國体は復更に相成以有傳世は以是の定
之甚深く 聖皇の如く其の如く又文武諸臣熟議其の
在賛成く其の如く其の如く其の如く其の如く其の如く

照入申事の如くとも程安く高き新事にしての彼夫人入
 朝許湯の縁を是迄例なく事以由なく性古を唐國之
 韓高海探信の國使入 然し例も有るべし如くも蓋國
 の清接侍有るべし 天朝の官位を紅授の事探有る
 べしと清言崇く候ふべし右極の例は清接侍に
 相成り候べしと候ふ候ふも其編も其紀も其方爰爰候來
 と客とも相成り爰爰候ふべし方今之形勢候ふべし洋
 夷共自ら帝國と稱し高大と極め居り右往古く儲蓄
 未だしく例候候ふべし取仕仕万爰何是同爲と申候候
 相成り候今日等しく候ふ候ふも其來の再殊しく候

と稱するに玉のた自然に清言の宋朝胡語が卷に再
 殊しく止ま候るを降と乞に玉の人と申候候候候候
 像寒心仕候入系殊湯仕候候候候候候候候候候候
 と以除しと申候候候候候候候候候候候候候候候候
 何者來り候候候候候候候候候候候候候候候候候
 が主人の職に清言の事候候候候候候候候候候候候
 と善く候候候候候候候候候候候候候候候候候候候
 國体清言の事候候候候候候候候候候候候候候候候
 廣存亡世一舉に候候候候候候候候候候候候候候候
 言く執候候候候候候候候候候候候候候候候候候候

上の時を是ハ 皇國漢土の之に拘らば 倭令 西洋各
 國と雖ども其國君臣等ハ自國を尊大に不仕以て
 其國ハ治ま難き者に涉るハ門巷に細民人之家横石
 使ハ若し之由其家主を世上に明く為教大切也若
 以不致ゆくとハ家治ま難く況々 皇國ハ之を年をく
 皇統連續と 所相續する在由全く荒ん合して
 天朝を無限を崇仕しより如世君臣と大分相亂るは
 萬國に絶縁仕ハて世を大に教に涉る又吾國尊大
 以仕ハて絶縁を疑ハて自然の勢に涉る然るに今
 是等大に相心ゆくと自ら所國體を破るに涉るは所

國體破るゆくとハ所國威自ら萎靡仕ハ被漢土人尊大
 以て夷狄に臣制ハと申し得とも宋明清杯何事も價
 易和儀を以て國を強り夫人に愚弄せしむる事漢土
 人之強敵斯に涉るハ万思思今こそ全く漢土之愛
 輒々多お踏ハて涉るハ其意ハ加々 皇國漢土との近
 隣に國柄に人情風土も古の之相習ま不申ハ然る
 西洋之教義里を隔て風土人情も定ま交ハる 皇國
 人として四智を去る心を養はて西洋人を模倣せし
 めハ其を改して不相成義に涉るハ西洋の只々貨
 利を貪る礼義廉恥を知らばハ帝王と相称ゆくと

由巨商と同極く者に育ていふ 皇國に仁義勇武
 と風俗と仕い國といふ事と不同い且昔々天主様教を
 尊し天主と大君大父とし真の君父と小君小父とし
 假令大罪を犯しいと由天主に痛びさる者ハ地獄に
 隨落しハ根と相啗いを實に君を無し親を無するの
 教に法をい出教蔓延仕いへむ之程不常由廢弛了仕
 い志方今ハ形勢擴張の端ハ速由難ハ非是非和親交
 易に事々々い 皇國ハ治安危にハ相拘とすい説由
 育ていゆ及即今ハ和親を極と由治安危にハ相拘と
 事々々ハ彼ハ清國体相立以上世迄諸國和親等々ハ振

合はくは市法免許を在國使杯一通外等々ハ法に扱
 以て法接納を在右に付て承伏不仕ゆはた我輩に
 及て然と生れ若清國体と為破ゆと和親交易
 清許答に相成ゆはた生福接売の害より甚愛事々々
 之故ハ彼ハ實中合世大軍とゆく末嗣仕ゆ共 皇國
 と人心一致して攝行仕ゆはた自ら義勇と奮發激
 勵と人を引起して中且刀槍可為我長と下とハ
 之力我防衛仕ゆはた是等々ハ法大捷了仕ゆ在是時と
 清國威と市内ハ照耀ハ遊者又等々一連年ハ防我
 以内此府縣危殆ハ及ゆとも 天徳路程と等初歴

物々 聖靈別々鬼神在天々 神靈以爲の討少しも
 新の腕以不亭々有る世侯以く洋表く制を新の更
 以て天下有者々者もの形々以を知く匹又匹婦又玉
 る之皆 天朝を快然し守王難報を解と相成て中彼
 逐賊□□大罪を蒙る以本を介夷交陸上中報を以間
 是又不伏を抱きて中介夷の相垂蓄懐く内以大徳を
 生し了了者又内地大愛を生す以へハ報年あはれ
 しと 皇國をく夷風以相成君父を無し了了を仇し
 妖邪腥穢礼忌戒ふく域以て相成以必定く茶と茶と
 以間交に痛哭泣涕長大息し端々を以薰子婦女子と

此を以て天下重大く事件容易に献て仕以て間と出
 ざる戒を犯し僭踰不遜く罪免以ゆと漆室離宗
 く輩皆女を以て國事を受以事古人も是を罪とせ
 らし以て以る區々の赤心坐臥がく 神所夷狄に沈く
 以事見る以忠節は成て以第一程替く管見藹菴を
 謀逆等 聖種以新の建い義も新の在以ゆと鼎獲檢
 刀く戮を受以事由祈禱せざるを以清を以在延樞要
 く清方以愚衷汚穢察以く甘旨を以然汚奏 聞其希
 以滅悅滅也死罪死罪償白

菅原朝臣薰子泣血殊上

美子の伏見宮の殿上人若江修理左史の女形社
蘭と号し又秋葉とも云年廿二歳草茶を信び和歌
歌と人より教へ志博學を養ひて危人競ふべく之を控
かんて歌しゆく儀海を遊ばども常に皆履踏しゆく俾
るべく云想の蔡姫謝女の亜流形と云ん



^{フロイセン}崇福生オカリン ^船名は松山藩家族團元江引揚とよし
今二月十二日不海出帆の多し

